

新型コロナウイルス感染症 対応ガイドライン

一般社団法人 長野県バスケットボール協会
令和3年6月15日 改訂(第4版)

はじめに

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって多くの競技活動や大会の自粛を余儀なくされていましたが、活動は地域によって異なる感染状況(変異株対策等含む)、まん延防止措置、ワクチンの接種状況等を考慮し、様々な状況に合わせたプロセスを経ていく必要があると思われます。

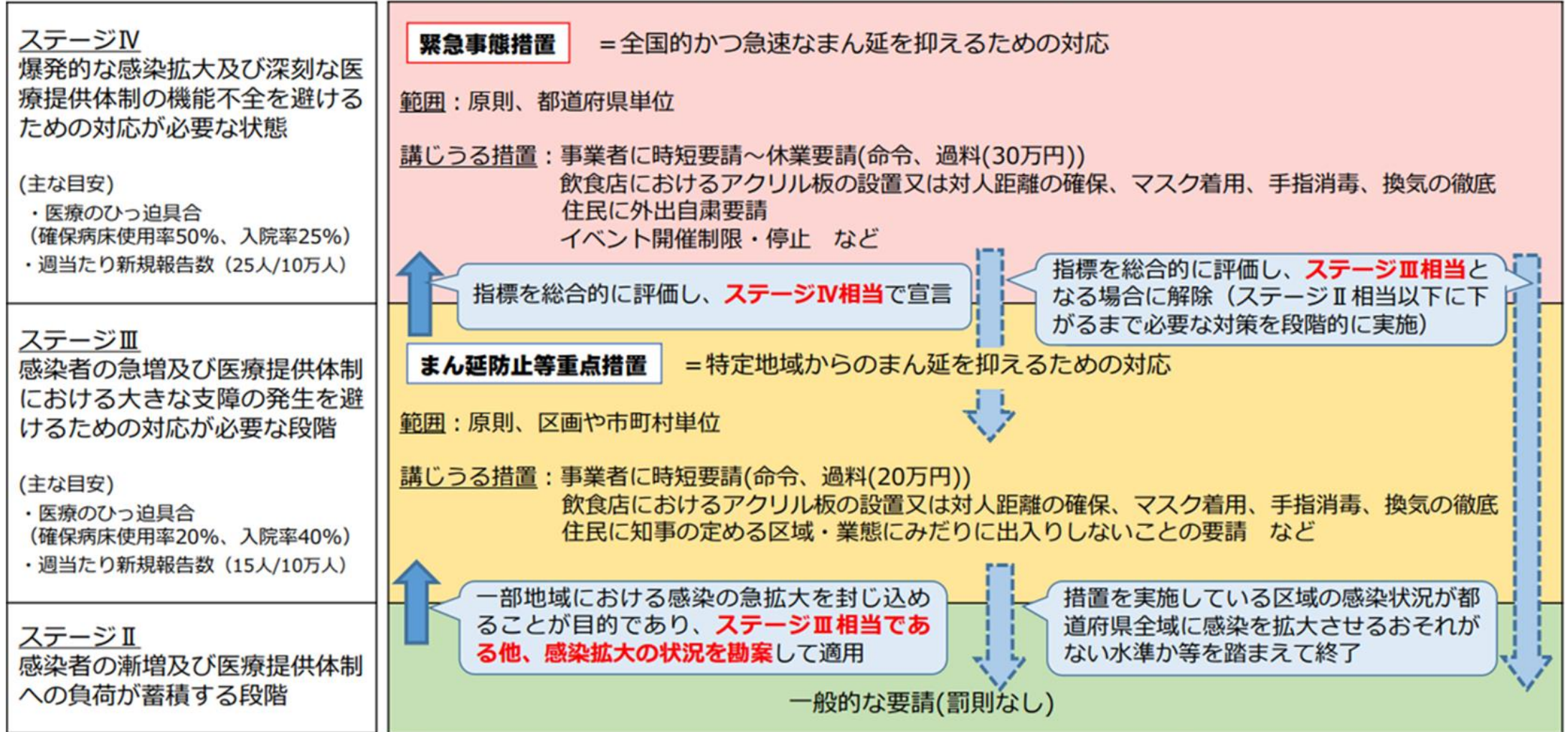
本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染の予防および対処について、一般社団法人長野県バスケットボール協会(以下、本協会)が選手、保護者、指導者およびチーム関係者に推奨するものです。

選手はじめ多くの皆様お一人お一人が新型コロナウイルスの特性を理解し、感染を予防する行動を取っていただければと思います。

大会活動を実施するにあたっては発熱・咳・下痢・倦怠感などの症状を認めた場合には参加を控えること、チームおよび本協会に報告することとし、安心・安全な環境づくりを行い、競技活動が継続できることを目指します。

緊急事態措置、まん延防止等重点措置等について

(個別の都道府県の扱いについては、機械的に行うのではなく、その都度、総合的に判断)



※緊急事態措置及びまん延防止等重点措置に係る要請に伴う支援については、要請に応じたこと、要請による経営への影響の度合い等を勘案し、公平性の観点や円滑な執行等が行われることに配慮し、十分な理解を得られるようにするため、必要な支援となるよう努める。

新型コロナウイルス感染症の症状

【新型コロナウイルスの症状】

主な症状は発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感です。

体温は37.5度程度まで上がります。

その他にも鼻づまり、喉の痛み、下痢の症状も出ることもあります。

感染から発症までの潜伏期間は1日～12.5日間(多くは5日～6日)と
言われています。

【不顕性感染】

人によっては新型コロナウイルスに感染しても症状が出ないということもあります。

※少しでも体調の異変にお気づきの場合には医療機関や管轄の保健所へのご連絡をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症との症状比較

	COVID-19	インフルエンザ	風邪	アレルギー
発熱	●	●	●	●
咳（せき）	●	●	●	●
息切れ	●	—	—	●
体の痛み	●	●	●	
頭痛	●	●	●	●
疲労感	●	●	●	●
喉の痛み	●	●	●	—
下痢	●	●	—	—
鼻水	●	●	●	●
くしゃみ	●	—	●	●
涙目	—	—	—	●

● 顕著
● 時々
● たまに
● 稀に
— 無し

新型コロナウイルスの感染力と感染経路

【感染力】

感染者1名から2～3名程度に感染します

【感染経路】

①飛沫感染(咳、くしゃみ、つばによる感染)

感染者の飛沫と一緒にウイルスが放出され、他の人が口や鼻などから吸い込むことによる感染です。今回の新型コロナウイルスの場合、エアロゾル(気体中の微小な液体や固体粒子)も媒介となります。

②接触感染

ウイルスが付着した手で触れたものや飛沫が付いた物質を非感染者が触れることによる感染です。

例:ボール、テーブル、イス、手すり、ドアノブ、照明スイッチ、紙幣や硬貨など

体調管理について

【健康チェック】

①検温チェック

日頃より検温を行っていただき、大会前2週間は結果の記録をお願い致します。

②日常生活

規則正しい生活や食事、十分な睡眠時間の確保をするようにしてください。

大会当日までチーム内で選手の生活状況の確認をしてください。

大会前は『**新規感染者の発生率の高い都道府県**』への往来は慎重に対応してください。

③チェックシートの提出徹底

試合当日および代表者会議にて健康チェックシートをご提出いただきます。

ご提出いただけない方は入場を断りする事もあります。

公益財団法人日本バスケットボール協会の健康チェックシート(参加チーム用、

審判提出用)をダウンロードしてください。<http://www.japanbasketball.jp/news/55909>

感染対策と予防(大会開催時)

【個人防護具と手指消毒等の標準予防策・環境整備】

- ①マスクの着用(コート内の選手・審判以外)
 - ※コーチ、控え選手、TO、試合観戦者等のマスク着用の徹底にご協力ください
- ②手指および道具・備品(ボール・テーブル・イス)等の消毒
 - ※アルコール等の消毒薬の空中散布はリスクあるため行いません
- ③ソーシャルディスタンスの確保:ベンチ・TO・ギャラリーなど
- ④ドリンクやタオル等の個別での準備の徹底(使いまわしはしないようにしてください)
- ⑤換気:常時またはハーフタイム・試合間の休憩時など
- ⑥会場内での移動時の動線確保(移動時はマスクを着用していただきます)
- ⑦会場の広さ、ギャラリーの座席数により観戦者を制限することもあります
 - ※全ての方にマスクご持参のご協力をお願い致します
 - ※お持ちいただけない場合は入場をお断り致します
- ⑧参加申込および同意書の提出(別紙)

感染症または症状の報告

大会終了後、選手またはチーム関係者に次の症状が発生した場合、ただちに本協会へご連絡をお願い致します。

- ①検査による陽性反応が出た場合
- ②濃厚接触者指定を受けた、または疑わしい場合
- ③体調不良(特に体温37.5度以上、咳、呼吸困難、全身倦怠感、鼻づまり、喉の痛み、下痢など)が3日間続いた場合

【対象】

選手、指導者、チーム関係者およびその家族や同居人

【報告先】

一般社団法人長野県バスケットボール協会 E-mail: nakaya-s2@cc.wakwak.com

※感染等の報告を受けた際には、対戦相手への連絡および今後の活動などを協議し、ご連絡致します。

情報開示について

新型コロナウイルス感染時の情報開示にあたっては感染症の予防や治療に必要な情報として、感染発生状況などを積極的に公表することを求められています（感染症法 16 条）ので、当該感染時には保健所および自治体に対して情報開示を行います。その後、協会として以下の事項に留意し、公式に発表させていただきます。（濃厚接触時も含む）

【留意点】

感染者だけでなく、家族やチーム等に対するいわれのない差別や偏見を防ぎ、個人の人権が損なわれることのないよう、情報保護等には十分留意します。個人名およびチーム名の開示は原則非公開としますが、感染者本人やチーム責任者に公開の意志がある場合、これを尊重しますが、その場合も家族・関係者などがいわれのない扱いを受けたりするなど、多大な影響が及ぼす可能性なども十分考慮したうえで、当事者と協議の上、判断するものとします。

ワクチン接種後について

ワクチンの接種が実施されてきています。ワクチンを接種した後は、接種部位の痛みが出たり、倦怠感、発熱、頭痛や関節痛などが生じることがあります。これらの症状は、たいてい数日以内で軽快することが分かっています。

ワクチンを受けた当日は、激しい運動や過度の飲酒などは控えてください。また接種部位については、清潔に保つよう心がけてください。

【留意点】

ワクチンを接種したからといってもご自身が感染しない、また他人に感染させないとは言いきれません。そのため活動時以外ではマスク着用などの感染対策の継続、活動時にも状況に合わせた感染対策の継続にご協力ください。

関連情報

【厚生労働省】新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

【厚生労働省】新型コロナワクチンQ&A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

【内閣官房】新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp/emergency/>

【長野県】新型コロナウイルス感染対策 総合サイト

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/corona.html>

【公益財団法人日本バスケットボール協会】新型コロナウイルス感染症に関するバスケットボール活動再開ガイドライン策定のお知らせ

<http://www.japanbasketball.jp/news/55909>

【信州ブレイブウォリアーズ】U15 新型コロナウイルス感染症 対応ガイドライン

<https://www.b-warriors.net/news/454203474/>